

未病産業研究会設立趣意書

「未病」とは、健康と病気を2つの明確に分けられる概念として捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものとして捉え、このすべての変化の過程を表す概念のことをいいます。

また、「未病の改善」とは、「未病」で示した心身の状態における一連の変化の過程において、特定の疾患の予防・治療に止まらず、心身全体をより健康な状態に近づけることをいいます。

神奈川県では、超高齢社会を乗り越えるため、「最先端医療・最新技術の追求」と「未病の改善」という2つのアプローチを融合する「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取り組みを進めており、その中で新たな産業・市場の創出を目指しています。

具体的には、従来の予防・診断に加え、体全体の状態を最適化するという「未病を改善する」ことに関連する産業を「未病産業」と名付け、超高齢社会を迎える我が国において、新たなビジネスモデルとなる「未病産業」という産業を、高齢化のスピードで全国一、二を争う神奈川がフロントランナーとなって確立させていきたいと考えています。

そのためには、人々に「未病」という概念を広め、各人が「未病を改善する」ことの大切さを認識し、行動変容を起こしていく中で、「未病を改善する」ための商品やサービスを供給する「未病産業」の必要性が認知されることにより、新たな市場が創出されていくことが必要です。

その過程においては、

- ① 「未病」の概念の普及や「未病産業」の認知等に向けた広報戦略やブランド戦略の策定
- ② 「未病産業」に関する商品やサービスが「未病を改善する」ことに資するというエビデンスの確立
- ③ 「未病産業」という新たな産業を創出するにあたって障壁となっている規制の改革
- ④ さまざまな企業のニーズやシーズ等のマッチングによる「未病産業」に係るイノベーションの創出

など、さまざまな課題を解決していく必要があり、そうした課題の解決に向けた協議や実践の場として、このたび「未病産業研究会」を設立する運びとなりました。

本研究会では、今後、国家戦略特区なども活用しながら、超高齢社会において成長産業となり得る、神奈川発の「未病産業」という新たな産業を創出することで、国民の健康寿命の延伸と日本経済の活性化を目指すとともに、新たなヘルスケアシステムを創造し、海外に向けて発信していきたいと考えています。

「未病産業」という新たな産業を創出するためには、多くの英知や経験を結集する必要があります。皆様には、本研究会の設立趣旨にご賛同いただき、今後の研究会の活動にご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 名称

未病産業研究会

2 目的

超高齢社会において成長産業となり得る、神奈川発の「未病産業」という新たな産業を創出することで、国民の健康寿命の延伸と日本経済の活性化を目指すとともに、新たなヘルスケアシステムを創造し、海外に向けて発信していくことを目的とします。

3 活動

本研究会では、主に以下の活動を行います。

- ・ 「未病」の概念の普及や「未病産業」の認知等に向けた広報戦略やブランド戦略の策定
- ・ 「未病産業」に関する商品やサービスが「未病を改善する」ことに資するというエビデンスの確立
- ・ 「未病産業」という新たな産業を創出するにあたって障壁となっている規制の改革
- ・ さまざまな企業のニーズやシーズ等のマッチングによる「未病産業」に係るイノベーションの創出 など

4 会費

設立当初は、会費のご負担はありません。

会費のご負担については、今後の研究会の展開を見極めつつ、会員の皆様ともご相談しながら、検討していく予定です。

5 事務局

神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

健康・未病産業グループ

- ・ 住 所 〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
- ・ 電 話 045-210-2715
- ・ ファクシミリ 045-210-8865
- ・ E-mail : hcnf.mebyo-ict@pref.kanagawa.jp